

# 資 料 編

妊婦救急搬送事案の経過 (平成19年8月29日)

時刻	消防機関(中和広域消防組合榎原消防署東出張所)	医療機関
2時44分	<p>携帯119番にて、知人の男性から救急要請を受ける</p> <p>通報内容:「36歳の女性で、妊娠して苦しんでいます。病院へは行ってないので何週目かは分かりませんが、腰部の痛みもあります。場所は榎原市醍醐町」[後に38歳であることが判明]</p>	<p>_____線は、受け答えで相異がある箇所</p> <p>_____線は、医大内部での受け答えの相異がある箇所</p>
2時47分	<p>出動指令 (通信指令→救急隊)</p>	<p>県外の医療機関への通話時刻は、KDDIの通信記録による。</p>
2時48分	<p>出場</p>	<p>県内の医療機関への通話時刻は、記憶による。</p>
2時52分	<p>現場到着(榎原市醍醐町のスーパー)現場到着時、傷病者はスーパーの東側出入口の椅子に右側臥位で寝ていた。傷病者は妊娠しており、昨夜から下腹部痛、腰痛、性器出血があった。かかりつけ病院は無しの情報を聴取する。</p>	
2時55分	<p>救護完了</p>	
2時56分	<p>傷病者バイタル 榎原消防署東出張所救急隊より、救急無線で傷病者の状況を受ける 「意識レベル:清明 呼吸:正常 SPO2:100% 脈拍:73回/分 血圧122/65」 中和広域消防組合通信指令課が、奈良県救急医療情報システムを確認するも、奈良県内の産婦人科当直病院の情報は県立医科大学附属病院以外なし。</p>	
2時57分頃	<p>①県立医大附属病院産婦人科へ電話で受入要請</p> <p>病院への要請内容:「36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけがないので、何週目かは分かりませんが、妊娠しています。診察をお願いします。」</p> <p>病院からの回答:「只今緊急オペが入りましたので、他の病院を手配してください。」</p> <p>病院への回答:「分かりました。他をあたります。」</p> <p>奈良市消防局通信指令課へ電話し、北和地区に産婦人科病院がないか確認。(確認した結果、北和地区には病院はなかった。大阪府立母子保健総合医療センターであれば、受け入れてくれる可能性があるとの回答を得る。)</p>	<p>(県立医科大学附属病院)</p> <p>2時55分</p> <p>→ 医事委託職員:「36歳、女性、下腹部痛、妊娠しているかどうかかわからない。」と消防の通信指令から連絡受け、当直医に確認。当直医から医事委託職員へ回答:「<u>お産の診察中で、後にしてほしい。</u>」</p> <p>← 医事委託職員の消防への回答:「患者処置中で<u>オペになるかもしれない。</u>」</p>
3時14分	<p>②大阪府立母子保健総合医療センター(大阪府和泉市)へ電話で受入要請</p> <p>病院への要請内容:「36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけ医はないので何週目かは分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。」</p> <p>病院からの回答:「紹介型病院なので、一般救急は受入しないことになっています。」</p> <p>病院への回答:「はい、わかりました。他をあたります。」</p>	<p>(大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>→ 委託職員:「救急搬送をお願いできませんか。」と消防の通信指令から要請を受けた。</p> <p>委託職員から消防への質問:「こちらの患者さんですか。」</p> <p>消防からの回答:「そちらの患者さんではないです。」</p> <p>← 委託職員の消防への回答:「うちは紹介型病院で、一般の救急をやっていないのですが。」</p>
3時26分	<p>奈良県救急医療情報システムにより大阪府下の産科医療機関を検索し、更に詳細情報を得るため大阪市消防局に対し、大阪府下の産婦人科の情報収集を行う。その結果、植田産婦人科病院、愛染橋病院、千船病院の紹介を受けた。 大阪府医療情報センターに対し、大阪府下の産婦人科の情報収集を行う。その結果、大阪厚生年金病院、藤本病院、大阪市立総合医療センター、北摂総合病院、高槻病院の紹介を受けた。</p>	

時刻	消防機関(中和広域消防組合榎原消防署東出張所)	医療機関
3時29分	③植田産婦人科病院(大阪市平野区)へ電話で受入要請 病院への要請内容:「36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけ医はないので何週目か分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。」 病院からの回答:「今、処置中ですので受入は無理です。」	(植田産婦人科病院) →【当日、要請は受けていない】(事務担当者)
3時43分	④愛染橋病院(大阪市浪速区)へ電話で受入要請 病院への要請内容:「36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけはないので何週目かは分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。」 病院からの回答:「今、分娩中なので受入は無理です。」	(愛染橋病院) → 警備員:「今、産婦人科の救急をやっていますか。」と消防の通信指令からの要請を受けた。 ← 警備員の消防への回答:「今日は、救急をストップしています。」 警備員:「他に救急を受け入れてくれるところはありませんか。」と消防の通信指令から質問を受ける。 警備員の消防への回答:「わかりません」
3時45分	⑤千船病院(大阪市西淀川区)へ電話で受入要請 病院への要請内容:「36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけはないので何週目かは分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。」 病院からの回答:「今、分娩中なので受入は無理です。」	(千船病院) → 管理当直の看護師:「妊娠している方で、性器出血がありお腹を痛がっているので、受け入れてもらえないか。」と消防の通信指令から要請を受けた。 ← 管理当直の看護師の消防への回答:「手術と分娩が重なっており受け入れられる状況ではありません。」
3時47分	⑥大阪厚生年金病院(大阪市福島区)へ電話で受入要請 病院への要請内容:「36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけはないので何週目かは分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。」 病院からの回答:「今、処置中ですので受入は無理です。」	(大阪厚生年金病院) →【消防の通信指令からの連絡はなかった】(事務担当者)
(時刻不明)	⑦再度、県立医大附属病院産婦人科へ電話で受入要請 病院への要請内容:「先ほどお願いした36歳の女性で、下腹部痛があり、性器出血のある方の受入の件なのですが、まだ手術中ですか。」 医大からの回答:「まだオベ中で無理です。」	(県立医科大学附属病院) →【要請を受けた記憶がない】(医事委託職員)
(時刻不明)	⑧県立医大附属病院 救命救急センターへ電話で受入要請 病院への要請内容:「36歳女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけはないので何週目かは分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。近くの病院はどこも受入れ先がないので救命センターで受け入れしてもらえませんか。」 病院からの回答:「もう少し2次病院をあたってください。」(対応:医師) 消防からの依頼:「どこか近くで診てくださるような病院はないですか。」(医師の返答なし)「わかりました他をあたります。」	(県立医科大学附属病院 救命救急センター) 3時30分頃 → 医事委託職員:「下腹部が痛い。性器出血がある。妊娠の可能性がある。」と消防の通信指令からの要請を受ける。(医事委託職員が当直医に電話を転送) ← 医師の消防への回答:「全身状態を聞く限り対象ではない。他のところをあたってください。」
3時54分	⑨藤本病院(大阪府寝屋川市)へ電話で受入要請 病院への要請内容:「36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけはないので何週目か分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。」 病院からの回答:「今処置されているので受入れは無理です。」	(藤本病院) → 当直看護師:「36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。」と消防の通信指令からの要請を受けた。 ← 当直看護師の消防への回答:「医師が処置に入っているため救急の受入れは不可」

時刻	消防機関(中和広域消防組合橿原消防署東出張所)	医療機関
4時02分	⑩大阪市立総合医療センター(大阪市都島区)へ電話で受入要請 病院への要請内容:「 <u>36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけはないので何週目かは分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。</u> 」 病院からの回答:「 <u>帝王切開が入ったところです。他をあたってください</u> 」	(大阪市立総合医療センター) → 委託職員:「産科の事案です。妊娠しています。2次救急で血圧などは落ちています。」と消防の通信指令からの要請を受けた。 ← 委託職員の消防への回答:「当直医は院内対応で追われているし、救急は原則受け入れていない。」
4時04分	⑪北摂総合病院(大阪府高槻市)へ電話で受入要請 病院への要請内容:「 <u>36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけはないので何週目かは分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。</u> 」 病院からの回答:「今、帝王切開が入ったところです。他を当たってください。」	(北摂総合病院) → 看護師「下腹部痛で出血しています。妊娠の可能性あります。産婦人科の応需をお願いします。」と消防の通信指令から要請を受けた。 ← 看護師の消防への回答:「当直医は院内の入院患者に対応しているため不可」
4時07分	⑫再再度、県立医大附属病院へ電話で受入要請(救急隊の携帯より) 病院の要請内容:「先ほどからお願いしている36歳の女性で、下腹部痛があり、性器出血のある件ですが、まだ手術中ですか。」 病院からの回答:「 <u>急患2名が分娩で、転院でも傷病者が入るので受入れできません。</u> 」	(県立医科大学附属病院) 4時00分頃 → 【要請内容がわからない】(医事委託職員) ← 医事委託職員の消防への回答:「 <u>今、医師が、急患搬送を希望している他の医療機関の医師と話をしているので後で電話をしてほしい。</u> 」
4時10分	⑬高槻病院(大阪府高槻市)へ電話で受入要請 病院からの要請内容:「 <u>36歳の女性です。下腹部痛と性器出血があります。かかりつけがないので何週目かは分かりませんが妊娠しています。診察をお願いします。</u> 」 病院からの回答:「受入れます。」	(高槻病院) → 看護師:「36歳。下腹部痛で出血しています。」と消防の通信指令から要請を受けた。 ← 看護師:「受け入れる旨回答」
4時19分	現場出発	
5時09分頃	大阪府高槻市富田丘町西交差点にて軽四自動車と接触事故が発生する。	
5時10分	救急隊長:高槻市消防本部に救急要請する。 要請内容:「奈良県中和広域消防組合橿原消防署救急隊員です。搬送途上交通事故を起こしましたので、救急車をお願いします。この事故によるけが人はいません。」	
5時13分	高槻市北消防署西分署救急隊現場到着 同刻ベビーのCPAを確認 救急現場から高槻市北消防署西分署救急隊より高槻病院へ容態変化の連絡を入れる。 救急現場から高槻市北消防署西分署救急隊より高槻日赤病院へ要請 救急現場から高槻市北消防署西分署救急隊より大阪医大病院へ要請 救急現場から高槻市北消防署西分署救急隊より再度、高槻病院へ要請、収容可能となる。	
5時46分	高槻市北消防署西分署救急隊にて高槻病院収容(橿原消防署東出張所救急隊員1名同乗する)	

8月1日～8月31日の救急医療情報システムによる救急受け入れ可否表示の状況

午後0時時点

日時 病院名	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)	4日 (土)	5日 (日)	6日 (月)	7日 (火)	8日 (水)	9日 (木)	10日 (金)	11日 (土)	12日 (日)	13日 (月)	14日 (火)	15日 (水)	16日 (木)	17日 (金)	18日 (土)	19日 (日)	20日 (月)	21日 (火)	22日 (水)	23日 (木)	24日 (金)	25日 (土)	26日 (日)	27日 (月)	28日 (火)	29日 (水)	30日 (木)	31日 (金)
県立奈良病院	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×	×	●	●	●	●	●
市立奈良病院	●	●	●	●	×	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	●
高の原中央 病院	●	●	●	●	×	●	×	●	●	●	●	×	●	×	●	●	×	●	×	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●	●
奈良社会保険 病院	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●
近大医学部 奈良病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県立三室病院	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●
天理市立病院	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●
天理よろづ 相談所病院	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●
済生会 中和病院	●	●	●	●	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	×	●	●	●	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●
県立医科大学 附属病院	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大和高田市立 病院	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●	●	●	×	×	●	●	●	●

午前0時時点

日時 病院名	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)	4日 (土)	5日 (日)	6日 (月)	7日 (火)	8日 (水)	9日 (木)	10日 (金)	11日 (土)	12日 (日)	13日 (月)	14日 (火)	15日 (水)	16日 (木)	17日 (金)	18日 (土)	19日 (日)	20日 (月)	21日 (火)	22日 (水)	23日 (木)	24日 (金)	25日 (土)	26日 (日)	27日 (月)	28日 (火)	29日 (水)	30日 (木)	31日 (金)
県立奈良病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
市立奈良病院	×	●	●	×	●	×	×	×	●	●	×	×	×	×	×	●	●	×	●	×	×	×	●	●	×	●	×	×	×	●	●
高の原中央 病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
奈良社会保険 病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
近大医学部 奈良病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県立三室病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
天理市立病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
天理よろづ 相談所病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
済生会 中和病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
県立医科大学 附属病院	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大和高田市立 病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

●:受入可 ×:受入不可 -:受入していない

医大附属病院の産婦人科当直医の状況

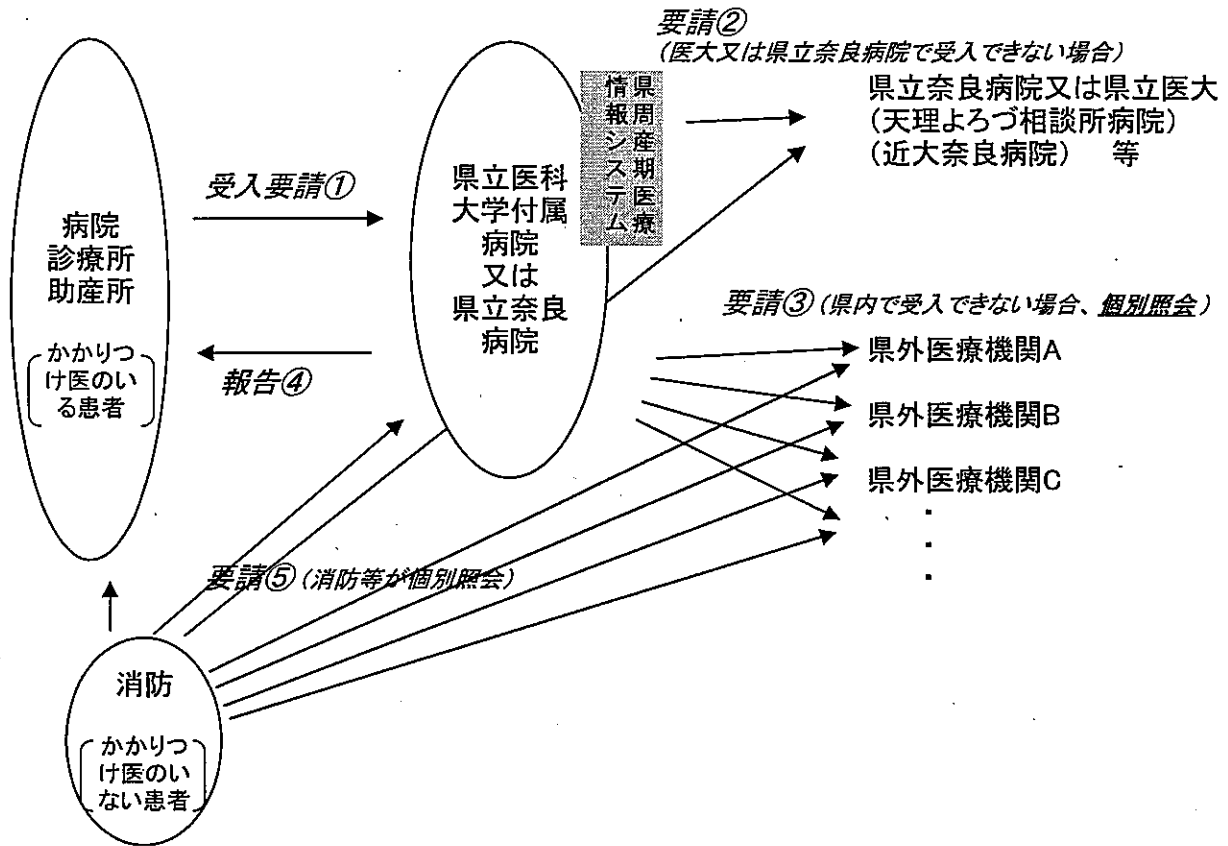
赤→は当直1、青→は当直2、黒→は手術及び術後経過観察のため2時30分まで残っていた

		患者(ア) 重症 朝から手術	患者(イ) お産の妊婦	患者(ウ) 軽症 処置後帰宅	患者(エ) 重症 処置後入院	患者(オ) お産の妊婦	患者(カ) 重症 緊急入院
8月28日	19:00	[手術中]		↓			
	20:00						
	21:00						
	22:00						
	23:00						
8月29日	0:00						
	1:00						
	2:00						
	救急隊連絡 →		入院診察				
	3:00		↓			入院診察	出血のため 緊急入院
	救急隊連絡 →		胎児モニター			↓	処置後観察
	4:00					胎児モニター	
	5:00		出産 立会				
	6:00						
	7:00						
8:00							
9:00							

手術している時間  
 術前・術後経過観察あるいは処置後経過観察

患者(ア)は14時間に及ぶ婦人科手術で定期的に経過観察  
 患者(イ)が入院し、内診し、胎児のモニターをつけて評価するのに50~60分かかる  
 患者(エ)は妊娠高血圧・胎盤早期剥離で緊急手術施行、術後も血圧不安定のため医師が管理する  
 患者(オ)が入院し、内診し、胎児のモニターをつけて評価するのに50~60分かかる  
 青の当直2は4時以降、患者(エ)と患者(カ)を掛け持ちで処置している  
 これ以外に入院患者の処置、カルテ整理がある

# 母体搬送の現況図



## 【改善すべき点】

- ・医師が受入可能病院を個別に照会(上図:要請①、要請②、要請③)しているため、通常の診療業務に支障が生じる。
- ・かかりつけ医のいない患者の場合、各医療機関へ個別照会(上図:要請⑤)しているため、受入病院が見つかるまで時間を要する。
- ・かかりつけ医のいない患者は、周産期システムの対象外となる。

## 救急自動車数・救急隊員数調べ

県名	救急自動車数(台)			救急隊員数(人)		
	総 ① 数	内高規格の 救急自動車数 ②	比率 ②/①	総 ① 数	内救急 救命士数 ②	比率 ②/①
北海道	359	218	60.7%	4,444	1,112	25.0%
青森	108	57	52.8%	1,189	215	18.1%
岩手	95	76	80.0%	1,304	247	18.9%
宮城	101	78	77.2%	993	289	29.1%
秋田	83	40	48.2%	881	187	21.2%
山形	68	36	52.9%	822	168	20.4%
福島	127	48	37.8%	1,489	232	15.6%
茨城	160	116	72.5%	2,077	355	17.1%
栃木	93	71	76.3%	1,030	253	24.6%
群馬	105	80	76.2%	950	228	24.0%
埼玉	245	198	80.8%	2,210	728	32.9%
千葉	244	167	68.4%	2,036	588	28.9%
東京	313	309	98.7%	2,087	1,152	55.2%
神奈川	265	257	97.0%	1,757	967	55.0%
新潟	150	72	48.0%	1,602	334	20.8%
富山	63	56	88.9%	587	195	33.2%
石川	55	49	89.1%	665	189	28.4%
福井	54	30	55.6%	505	144	28.5%
山梨	61	33	54.1%	605	144	23.8%
長野	146	91	62.3%	1,751	363	20.7%
岐阜	140	92	65.7%	1,733	294	17.0%
静岡	158	119	75.3%	1,316	371	28.2%
愛知	238	225	94.5%	2,953	871	29.5%
三重	114	73	64.0%	1,648	234	14.2%
滋賀	66	52	78.8%	650	199	30.6%
京都	102	85	83.3%	1,034	357	34.5%
大阪	265	233	87.9%	2,253	1,015	45.1%
兵庫	195	183	93.8%	1,973	868	44.0%
奈良	74	46	62.2%	976	205	21.0%
和歌山	75	60	80.0%	811	265	32.7%
鳥取	33	22	66.7%	520	103	19.8%
島根	77	37	48.1%	726	150	20.7%
岡山	107	64	59.8%	1,650	258	15.6%
広島	156	112	71.8%	1,132	467	41.3%
山口	84	64	76.2%	1,042	234	22.5%
徳島	47	28	59.6%	523	129	24.7%
香川	52	44	84.6%	427	164	38.4%
愛媛	88	49	55.7%	763	197	25.8%
高知	61	34	55.7%	724	171	23.6%
福岡	171	140	81.9%	1,542	483	31.3%
佐賀	51	39	76.5%	559	144	25.8%
長崎	85	43	50.6%	698	181	25.9%
熊本	111	52	46.8%	855	229	26.8%
大分	65	37	56.9%	646	163	25.2%
宮崎	46	42	91.3%	447	145	32.4%
鹿児島	134	42	31.3%	1,016	239	23.5%
沖縄	75	45	60.0%	909	242	26.6%
合計	5,765	4,144	71.9%	58,510	16,468	28.1%



# 奈良県の産婦人科一次救急体制の検討

## ①現状と課題

### (現状)

		月	火	水	木	金	土		日	
							昼	夜間	昼	夜間
北和	輪番病院	○※	△※	○	○	×	○	○	×	×
		社会保険病院	近大奈良病院(婦人科のみ)	市立奈良病院	市立奈良病院	—	市立奈良病院	市立奈良病院	—	—
中南和		×	×	×	×	×	×	×	×	×

### (課題)

・北和の輪番病院は、金曜日・日曜日が空白になる。  
(※月・火が祝日の場合も、昼・夜空白になる。)

・火曜日の近大奈良病院は婦人科のみで、産科は対応していない。

※近畿大学医学部奈良病院の輪番体制での受入は、婦人科のみでしたが、平成19年10月16日から産科も対応しています。

・中南和は体制整備がないため、県立医科大学付属病院が一次救急も対応せざるを得ない状況。

(参考)

産婦人科一次救急患者数(H18) (前回資料3より)

	患者数	(うち救急車使用)
奈良	137	23
西和	45	6
東和	341	17
中和	504	77
南和	32	0
合計	1059	123

夜間休日の救急患者数(かかりつけ妊婦は除く)  
病院の所在する医療圏ごとに集計

# 産婦人科1次救急患者調査結果一覧表

調査期間 平成18年1月～12月

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
奈良	県立奈良病院	患者数	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
		(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	市立奈良病院	患者数	12	9	4	8	15	10	8	9	11	12	15	12	125
		(うち救急車使用)	(3)	(0)	(1)	(3)	(2)	(4)	(2)	(0)	(3)	(1)	(2)	(2)	(23)
※済生会奈良病院	患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
※高の原中央病院	患者数	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	4	
	(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
西和	奈良社会保険病院	患者数	0	1	1	1	3	1	1	0	4	1	2	1	16
		(うち救急車使用)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)
	※近畿大学医学部 奈良病院	患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
		(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
県立三室病院	患者数	1	3	3	1	3	0	1	3	4	3	1	3	26	
	(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(4)	
東和	天理市立病院	患者数	17	14	10	10	13	6	9	7	12	12	13	13	136
		(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)
	天理よろづ相談所 病院	患者数	19	14	20	18	12	17	23	15	18	25	7	16	204
		(うち救急車使用)	(3)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(4)	(2)	(0)	(3)	(0)	(2)	(16)
済生会中和病院	患者数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
※宇陀市立病院	患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
中和	県立医科大学 附属病院	患者数	70	40	24	33	41	30	49	48	34	データなし*	52	43	464
		(うち救急車使用)	(6)	(4)	(8)	(8)	(10)	(1)	(7)	(11)	(6)	(3)	(8)	(2)	(74)
	大和高田市立病院	患者数	4	2	1	1	3	1	2	1	2	1	0	2	20
		(うち救急車使用)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(3)
※済生会御所病院 H18.10～婦人科のみ	患者数	3	2	3	1	5	2	1	0	3	0	0	0	20	
	(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
南和	※県立五條病院 H18.4～婦人科のみ	患者数	12	11	4	0	0	0	2	0	0	1	2	0	32
		(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	町立大淀病院	患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(うち救急車使用)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
合計		患者数	142	97	74	73	97	67	97	83	88	57	94	90	1059
		うち救急車使用	(12)	(5)	(10)	(12)	(13)	(6)	(14)	(13)	(11)	(9)	(10)	(8)	(123)

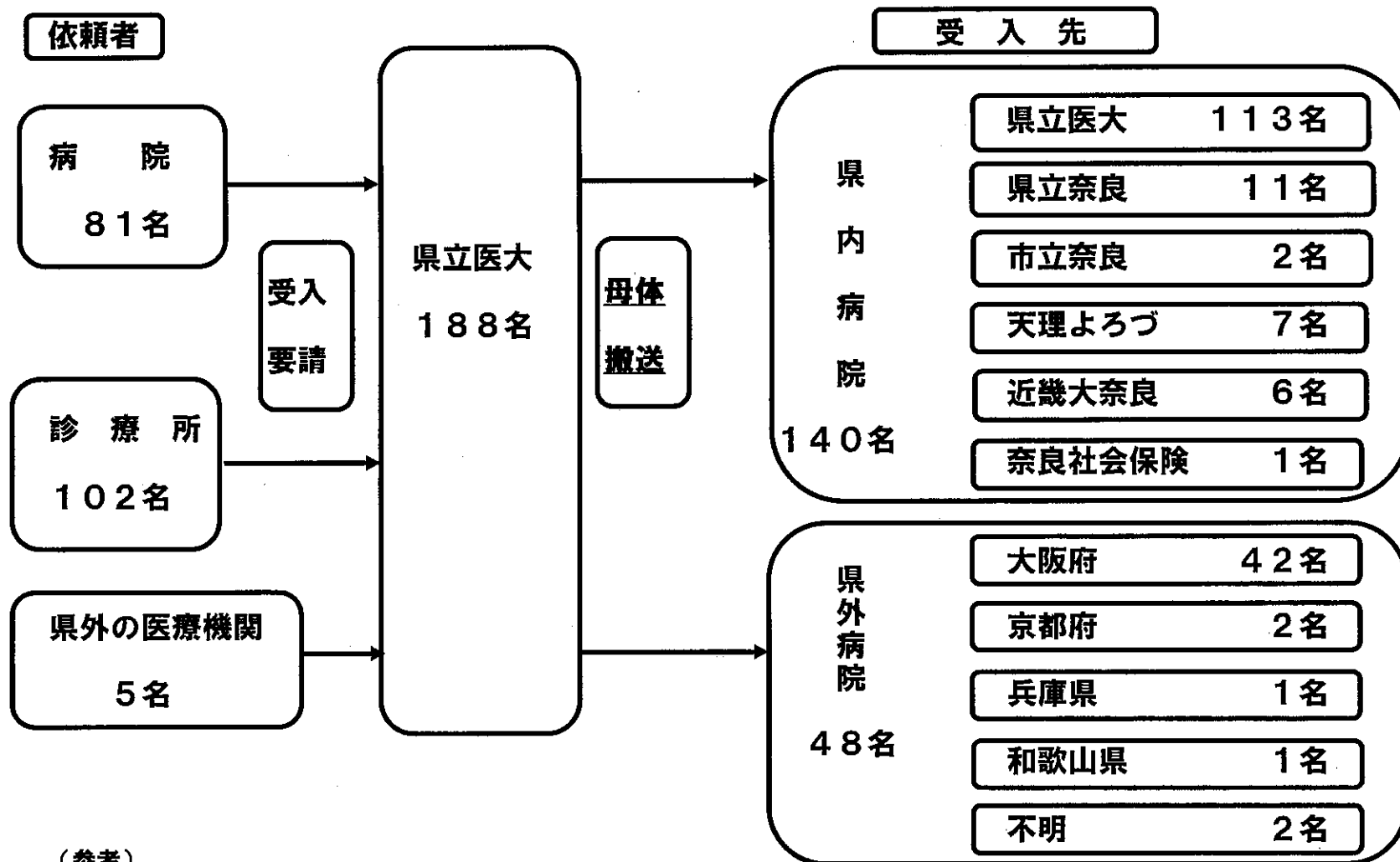
患者数については、夜間・休日の救急患者(かかりつけ妊婦は除く)  
※印の付与した医療機関は婦人科のみ受け入れ

## 消防機関への救急要請における産科・周産期傷病者搬送状況について（平成18年中）

	救急搬送人員	産科・周産期傷病者の搬送人員	①医療機関に照会を行うも、実際に受入に至らなかった件数と構成比(%)				②現場到着から現場出発までの時間区分ごとの件数					③照会するも受入に至らなかった理由ごとの件数(延べ件数)						④最大受入れ照会回数とその所要時間				
			0回	1~3回	4~6回	7回以上	30分以上	60分以上	90分以上	120分以上	150分以上	ベッド満床	専門外	医師不在	手術、患者対応中	処置困難	初診(かかりつけ医がない)	理由不明及びその他	回数	覚知から医療機関収容所要時間(分)		
滋賀県	49,580	426	件数	330	8	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4	0	5	4	47
			%	97.6	2.4	0	0															
京都府	109,949	724	件数	496	22	1	0	8	0	0	0	0	2	0	8	5	10	3	8	6	49	
			%	95.5	4.2	0.1	0.0															
大阪府	454,631	2,933	件数	2,420	236	33	13	56	7	2	1	0	11	16	11	32	18	24	174	20	137	
			%	89.6	8.7	1.2	0.4															
和歌山県	44,476	245	件数	158	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3	5	46	
			%	96.3	3.0	0.6	0.0															
三重県	68,185	479	件数	339	60	1	1	3	0	1	0	0	1	4	3	1	6	0	5	8	116	
			%	84.5	15.0	0.2	0.2															
奈良県	53,256	552	件数	427	109	13	3	31	1	1	0	0	5	21	11	20	10	5	42	9	88	
			%	77.4	19.7	2.4	0.5															

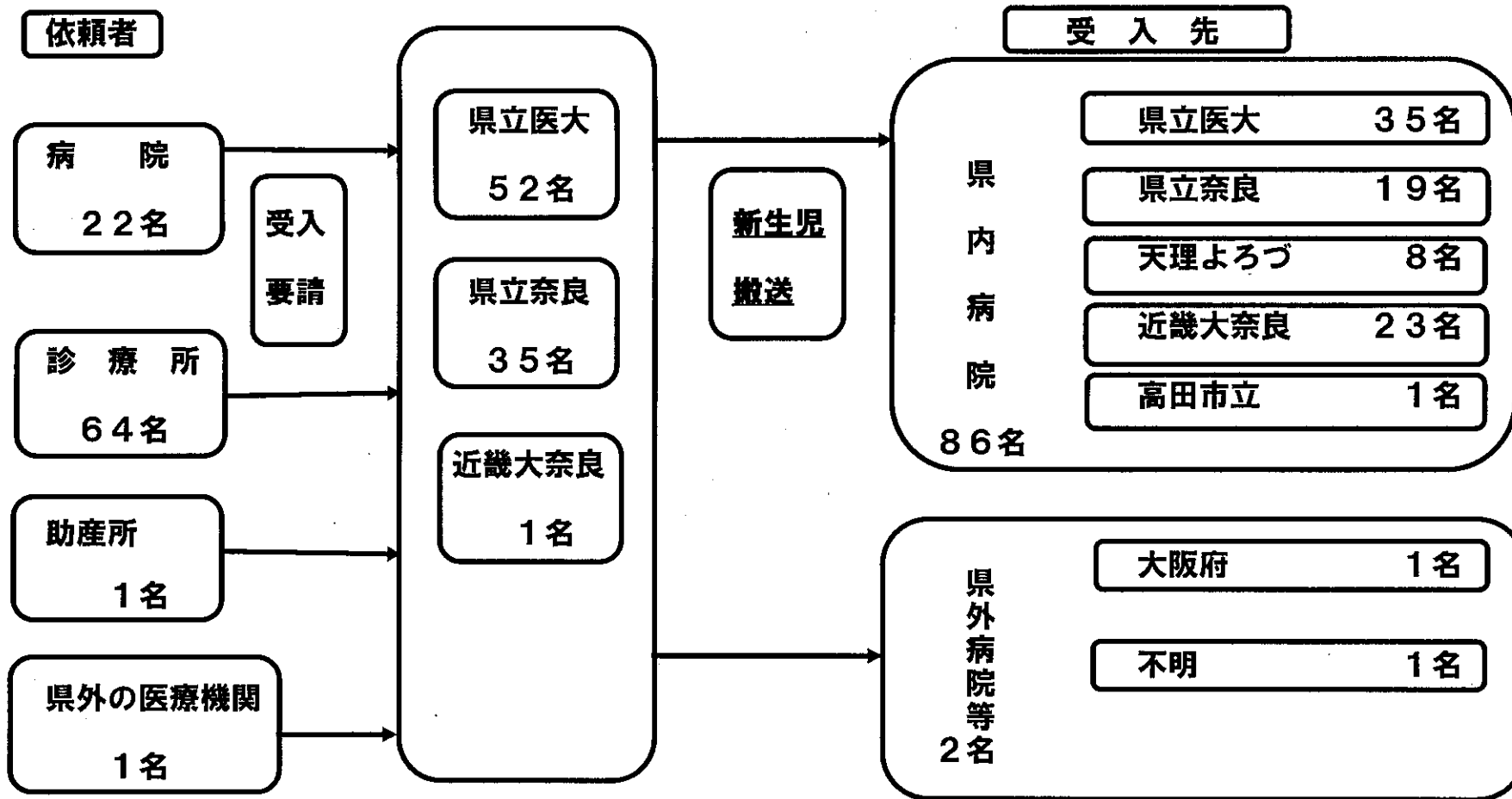
\*分類不能等により数値計上されていない団体があります。

# 県立医科大学に依頼のあった母体搬送の状況（平成18年1月1日～12月31日）



(参考)  
 県立奈良病院への受入要請件数 138名（県立医大からの依頼54名を含む）  
 （うち受入件数48名、受入できなかった件数90名）

奈良県周産期医療情報システムを利用した新生児搬送の状況（平成18年1月1日～12月31日）



# NICU及びMFICUの稼働率及び増床推移

資料 11

		県立医大病院		県立奈良病院		近大奈良病院
		NICU	MFICU	NICU	MFICU	NICU
平成16年	入院患者数	6,859	505	2,966	91	2,963
	1日平均患者数	18.8	1.4	8.1	0.2	8.1
	病床稼働率(%)	89.5	46.1	90.3	24.9	90.2
平成17年	入院患者数	6,723	459	2,768	120	2,864
	1日平均患者数	18.4	1.3	7.6	0.3	7.8
	病床稼働率(%)	87.7	41.9	84.3	32.9	87.2
平成18年	入院患者数	7,259	761	2,978	162	2,895
	1日平均患者数	19.9	2.1	8.2	0.4	7.9
	病床稼働率(%)	94.7	69.5	90.7	44.4	88.1

平成19年9月1日現在の病床数	NICU	MFICU	NICU	MFICU	NICU
	21	3	9	1	10

平成20年5月～ 県立医大の総合周産期母子 医療センターの整備により	NICU	MFICU	NICU	MFICU	NICU
	21 (後方病床 10)	6 (後方病床 12)	9	1	10

平成21年5月～ 近大奈良病院の増床整備に より	NICU	MFICU	NICU	MFICU	NICU
	21 (後方病床 10)	6 (後方病床 12)	9	1	10 (後方病床 6)

(参考) 県立医大のセンター整備による医師・看護師の必要数

		現状 (19. 9. 1現在)	今回整備時増員 必要数	必要人数合計
医師	合計	21名	+3名	24名
	産婦人科	13名	+3名	16名
	NICU	8名	—	8名
看護師	合計	62名	+53名	115名
	産婦人科	23名	+23名	46名
	NICU	39名	+30名	69名

## 近隣府県における周産期医療体制整備状況

		三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県	徳島県	奈良県 (現状)	奈良県 (H20年5月)
総合周産期母子医療センター	病院数	1	1	1	4	1	1	1	0	1
	N I C Uの整備病床合計数	9	9	9	69	15	9	6	0	21
	N I C Uの後方病床合計数	21	21	17	91	35	11	12	0	10
	M F I C Uの整備病床合計数	6	6	9	30	7	6	3	0	6
	M F I C Uの後方病床合計数	21	12	6	153	23	19	8	0	12
地域周産期母子医療センター	病院数	4	2	18	0	9	1	0	0	0
	N I C Uの整備病床合計数	23	0	110	0	80	6	0	0	0
	N I C Uの後方病床合計数	30	0	22	0	58	0	0	0	0
	M F I C Uの整備病床合計数	6	0	17	0	4	0	0	0	0
	M F I C Uの後方病床合計数	15	0	24	0	16	0	0	0	0
周産期医療情報システム参加病院	参加病院数(小児科)	5	12	19	28	10	5	2	5	5
	参加病院におけるNICUの病床合計数	32	15	119	201	95	39	6	40	40
	参加病院数(産婦人科)	5	10	19	43	10	5	2	5	5
	参加病院におけるMFICUの病床合計数	12	6	26	34	11	16	3	4	7
H18出生数		15,816	13,448	22,100	77,641	48,771	7,930	6,257	11,476	11,476
人 口		1,832,672	1,357,591	2,601,322	8,640,236	5,504,338	1,030,942	805,743	1,412,450	1,412,450
人口1万人あたりNICU		0.175	0.110	0.457	0.233	0.173	0.378	0.074	0.283	0.283
人口1万人あたりMFICU		0.065	0.044	0.100	0.039	0.020	0.155	0.037	0.028	0.050

※ 近畿ブロック周産期医療広域連携検討会資料(平成18年12月調査)より

周産期医療情報システム参加病院の後方病床数についてはデータなし

## 未受診妊婦にかかる調査結果

## 〈調査概要〉

対象機関：産科を有する県内11病院、18診療所、8助産所

調査内容：平成18年1月1日から12月31日に分娩を行った者の内、未受診妊婦数(分娩までにどの医療機関においても妊婦健診を受けたことのない妊婦)及び受診時の状況、胎児の状態

## 1. 未受診妊婦数について

総数(人)	(内訳)		
	病院	診療所	助産所
16	15	1	0
100.0%	93.8%	6.2%	0.0%

H18年の分娩件数11,531件の内、分娩まで1回も妊婦健診を受けたことのない妊婦は16名(0.14%)である。

## 2. 妊婦の年齢について

	15～19歳	20～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳以上	合計(人)
調査	2(12.5%)	1(6.2%)	4(25.0%)	6(37.5%)	3(18.8%)	16
H18年全出生	183(1.6%)	1,214(10.6%)	3,399(29.6%)	4,629(40.3%)	2,051(17.9%)	11,476

未受診妊婦の年齢は10代の割合が12.5%と、H18年の奈良県の出生数における母の年齢割合の1.6%と比べて約8倍と高い。

## 3. 分娩時の妊娠週数について(周産期;妊娠22週以降)

	22～36週	37～41週	42週以上	不詳	合計(人)
調査	3(18.8%)	6(37.5%)	1(6.2%)	6(37.5%)	16
H18年全出生	615(5.4%)	10,772(93.9%)	85(0.7%)	4(0.03%)	11,476

未受診妊婦の場合、36週以下の早産がH18年の奈良県の出生数の5.4%に比べて約3倍と高い。

## 4. 分娩経過について

異常あり	異常なし	合計(人)
11(68.7%)	5(31.3%)	16

約70%の分娩異常があった。

## 5. 未受診理由について

a.経済的理由	b.妊娠を知らなかった	c.望まない妊娠	d.その他	e.不詳	合計(件)
5(31.3%)	1(6.2%)	2(12.5%)	6(37.5%)	2(12.5%)	16

\*その他  
・忙しい(仕事、育児など)

未受診の理由としては経済的理由が多い。

## 6. 死産数

死産数(胎)
1(6.2%)

## 7. 児の体重について

	～1,500g	～2,000g	～2,500g	～3,000g	3,000g～	不詳	合計(人)
調査	2(12.5%)	0(0.0%)	1(6.2%)	8(50.0%)	5(31.3%)	0(0%)	16
H18年全出生	80(0.7%)	139(1.2%)	891(7.8%)	4,468(38.9%)	5,897(51.4%)	1(0.01%)	11,476

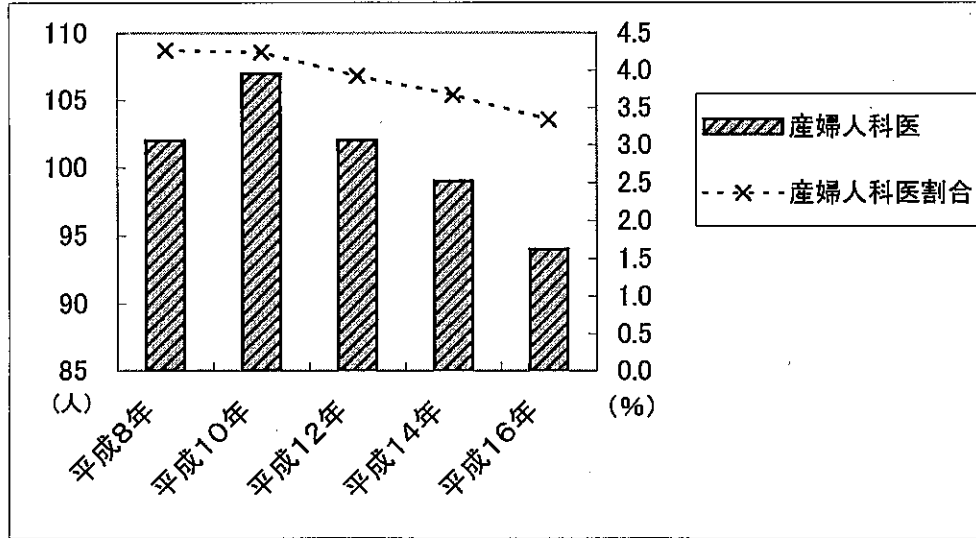
低出生体重児(2,500g未満)が3人(18.7%)と多い。特に、極低出生体重児(1,500g未満)が2人(12.5%)と、H18年の奈良県の出生数(0.7%)と比べて約18倍と高い。



# 産婦人科医師状況(医療施設従事医師)

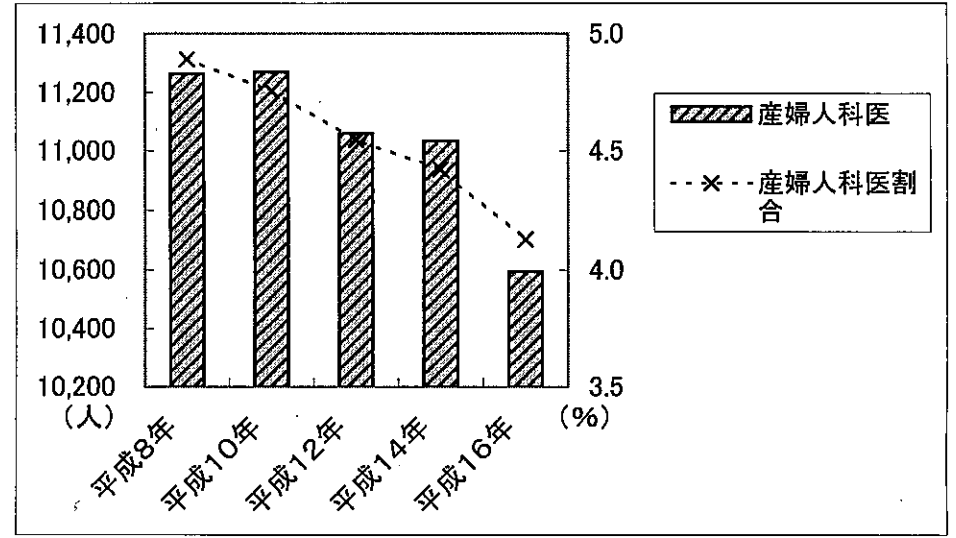
## 産婦人科医師数の推移

### 奈良県



	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
産婦人科医	102	107	102	99	94
その他	2,286	2,414	2,497	2,600	2,721
計	2,388	2,521	2,599	2,699	2,815

### 全国



	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
産婦人科医	11,264	11,269	11,059	11,034	10,594
その他	219,033	225,664	232,142	238,540	246,074
計	230,297	236,933	243,201	249,574	256,668

## 人口10万人当たりの産婦人科医師数

### 奈良県

	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
産婦人科医	7.1	7.4	7.1	6.9	6.6
その他	158.8	166.8	173.0	180.8	190.1
計	165.9	174.2	180.1	187.7	196.7

### 全国

	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年
産婦人科医	8.9	8.9	8.7	8.7	8.3
その他	174.1	178.4	182.9	187.1	192.7
計	183.0	187.3	191.6	195.8	201.0

※医師・歯科医師・薬剤師数調査より(各年12月31日現在) 複数の診療科に従事している場合は、主として従事する診療科を計上  
産婦人科医師数には、産科及び産婦人科医師の合計数を計上

## 奈良県内の分娩取扱医療機関一覧

医師、看護職員数：平成19年4月1日現在

	医療機関名	医療圏	平成18年分娩件数	産婦人科の状況				NICU病床数
				病床数	常勤医師数	助産師	看護師	
1	県立奈良病院	奈良	589	46	6	13	11	9
2	市立奈良病院	奈良	342	不定	3	10	15	
3	天理市立病院	東和	161	17	1	8	3	
4	天理よろづ相談所病院	東和	431	56	5	18	5	
5	済生会中和病院	東和	88	20	2	6	6	
6	桜井病院	東和	772	50	3	10	34	
7	奈良社会保険病院	西和	439	30	2	25	1	
8	近畿大学医学部奈良病院	西和	359	31	6	11	28	10
9	県立三室病院	西和	209	24	2	10	8	
10	県立医科大学附属病院	中和	540	70	13	14	44	21
11	大和高田市立病院	中和	1,036	40	3	14	11	
病院計			4,966	384	46	139	166	40
12	高山クリニック	奈良	非公表	9	1	4	6	
13	富雄産婦人科	奈良	〃	18	2	5	13	
14	平野医院	奈良	〃	17	2	2	17	
15	岡村産婦人科	奈良	〃	9	2	6	8	
16	林産婦人科新大宮	奈良	〃	9	1	3	5	
17	内藤医院	東和	〃	7	2	0	7	
18	赤崎クリニック	東和	〃	19	2	11	12	
19	久産婦人科	東和	〃	18	2	2	6	
20	なんのレディースクリニック	西和	〃	8	1	11	9	
21	杉江産婦人科	西和	〃	9	1	0	6	
22	辻産婦人科	西和	〃	14	2	3	10	
23	中野産婦人科	西和	〃	14	1	2	11	
24	林産婦人科王寺	西和	〃	15	1	3	4	
25	酒本産婦人科	中和	〃	13	1	2	4	
26	藤田産婦人科	中和	〃	9	1	1	12	
27	林産婦人科五位堂	中和	〃	8	1	4	8	
28	さくらレディースクリニック	中和	〃	18	2	8	7	
29	後藤医院	南和	〃	19	1	0	0	
診療所計			6,412	233	26	67	145	
助産所計			8カ所 153	17	0	13	1	
合計			11,531	634	72	219	312	

※18年の分娩件数には、現在分娩取扱いを休止している医療機関を含まず

## 休日・夜間用

# 産婦人科 救急対応マニュアル

1. 一次救急対応編
2. 病診連携、病病連携対応編
3. ハイリスク妊婦搬送コーディネーター編

2007年8月奈良県妊婦救急搬送事案調査委員会  
マニュアル作業部会

はじめに

この対応マニュアルは、出産及び女性特有の疾患に対応する救急要請に際し、休日・夜間等に一番最適な診療科を受診するための一次救急に対応したものと、病院や診療所で診察をした結果、重症のため二次以上の医療機関に搬送する際に、スムーズな母体搬送を行うための病診・病病連携マニュアル、病診・病病連携のためのコーディネートを行なうハイリスク妊婦搬送コーディネーターマニュアルの3つの構成となっております。

それぞれの場面で有効にお使いいただき、県内の医療機関、消防機関のすべての救急業務にかかわる職員が情報共有できるものとなれば幸いです。

どうぞご活用ください。

### 県内分娩取扱病院及び診療所

平成19年9月1日現在

医療圏	医療機関名	住所	電話番号
奈良	県立奈良病院	奈良市平松 1-30-1	0742-46-6001
奈良	市立奈良病院	奈良市東紀寺町 1-50-1	0742-24-1251
東和	天理市立病院	天理市富堂町 300-11	0743-63-1821
東和	天理よろづ相談所病院	天理市三島町 200	0743-63-5611
東和	済生会中和病院	桜井市大字阿部 323	0744-43-5001
東和	桜井病院	桜井市桜井 973	0744-43-3541
西和	奈良社会保険病院	大和郡山市朝日町 1-62	0743-53-1111
西和	近畿大学医学部奈良病院	生駒市乙田町 1248-1	0743-77-0880
西和	県立三室病院	生駒郡三郷町三室 1-14-16	0745-32-0505
中和	県立医科大学附属病院	橿原市四条町 840	0744-22-3051
中和	大和高田市立病院	大和高田市磯野北町 1-1	0745-53-2901
	病院計	11か所	
奈良	高山クリニック	奈良市柏木町 190-5	0742-35-3611
奈良	富雄産婦人科	奈良市三松 4-878-1	0742-43-0381
奈良	平野医院	奈良市西大寺東町 2-1-52	0742-33-3338
奈良	岡村産婦人科	奈良市西木辻町 30	0742-23-3566
奈良	林産婦人科新大宮	奈良市芝辻町 2-10-15	0742-34-0322
東和	内藤医院	桜井市桜井 996	0744-42-2138
東和	赤崎クリニック	桜井市大字谷 111	0744-43-2468
東和	久産婦人科	磯城郡田原本町十六面 23-1	07443-3-3110
西和	なんのレディースクリニック	生駒郡斑鳩町興留 5-14-8	0745-75-5623
西和	杉江産婦人科	生駒市元町 1-11-3	0743-75-0123
西和	辻産婦人科	生駒市東生駒 1-61-1	0743-74-8951
西和	中野産婦人科	生駒市山崎新町 1-23	0743-75-0311
西和	林産婦人科登美ヶ丘	生駒市鹿畑町 55-1	0743-70-0339
西和	林産婦人科王寺	北葛城郡王寺町葛下 1-9-1	0745-73-3301
中和	酒本産婦人科	橿原市内膳町 4-4-26	0744-25-3389
中和	藤田産婦人科	香芝市逢坂 7-130	0745-78-4103
中和	林産婦人科五位堂	香芝市真美ヶ丘 1-13-27	0745-71-5201
中和	さくらレディースクリニック	橿原市上品寺町 528	0744-23-1199
南和	後藤医院	五條市本町 1-7-23	0747-22-2695
	診療所計	19か所	

# 1. 一次救急編

このマニュアルは、休日・夜間等に救急要請や受診要請があった際に、産婦人科の受診が必要か、その他の診療科の受診が必要かの判断をするための、目安とするためのチェックリストとして作成いたしました。

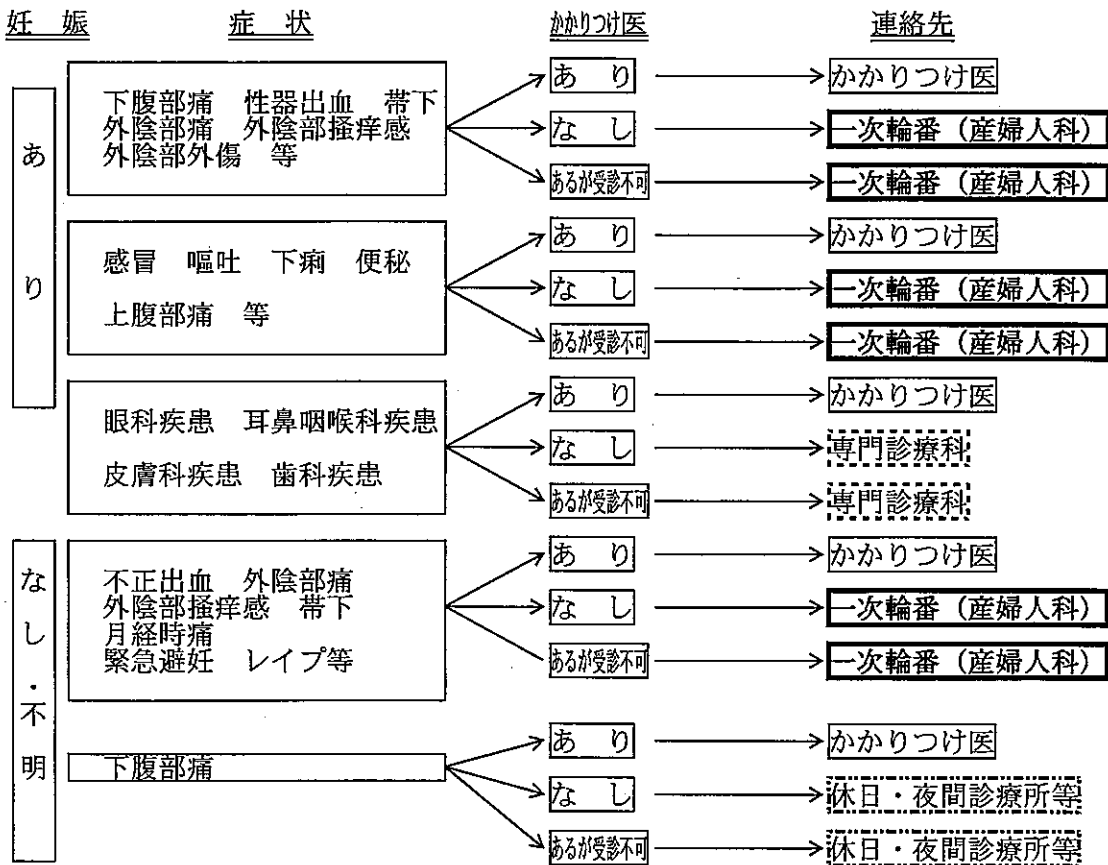
このマニュアルは救急隊が患者と直接の電話対応に使用したり、医事受付担当者や守衛等が休日・夜間等に受付を行なう際に最低限必要な情報を確認し、診療科の判断が出来るように作成しています。

実際は医事受付担当者等が患者との対応を行なう例もありますが、本来患者との電話対応は医師、看護師が行なうことが望ましいのはいうまでもないため、医事受付担当者等は医師、看護師等との連絡を密に取った上で対応に当たるよう努めてください。

なお、マニュアルの使用前に一般救急として必要な項目の聞き取り等は、別に行なってください。その結果、産婦人科受診が必要と認められた場合にご使用いただきますようお願いいたします。

また、このマニュアルにかかわらず、緊急度が高い際にはそれぞれ関係者の判断により対処いただきますようお願いいたします。

## 基本的な症状からみた連絡先



※ 二次以上と判断した場合、ハイリスク妊婦搬送コーディネーターにお問い合わせください  
 ※ 一次輪番病院等が、分娩中等によりやむを得ず受入できない場合は、ハイリスク妊婦搬送コーディネーターにお問い合わせください

救急隊用様式

受付日時	月	日	時	分
------	---	---	---	---

産婦人科一次救急チェックリスト

名前 \_\_\_\_\_ S・H \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生 \_\_\_\_\_ 才

住所 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_

かかりつけ医の有無 (あり 無 帰省・旅行中 )

「あり」または「帰省旅行中」の場合かかりつけ医を欄外に記載してください

→ かかりつけ医がある場合かかりつけ医に連絡してください

意識レベル ( 清明 ぼんやり なし ) 血圧 ( \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ mm/Hg)

心拍数 ( \_\_\_\_\_ ) 動脈血酸素飽和度<SP0<sub>2</sub>> ( \_\_\_\_\_ %) 体温 ( \_\_\_\_\_ °C)

主訴 (症状) 下腹部痛 ( )
性器出血 ( ) おりもの ( )
月経の異常 過 多 ( )・痛み ( )・遅れ ( )
外陰部の異常 かゆみ ( )・痛み ( )・外傷 ( )
その他 ( _____ )
妊娠の有無： なし ( )・あり ( )・不明 ( )
妊娠ありの場合 妊娠週数 _____ 週 _____ 日 _____ カ月
(分娩予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日)
妊娠不明の場合 (最終月経 _____ 年 _____ 月 _____ 日)
出産経験 あり ( )・なし ( )
既往歴 ( _____ )

その他自由記載欄 (アレルギー、投薬、破水、胎動、陣痛、感染症歴、血液型等気づいた点を記入してください)
---

救急隊名	担当者	最終収容先
------	-----	-------

受付日時	月	日	時	分
------	---	---	---	---

## 産婦人科一次救急チェックリスト

名前 \_\_\_\_\_ S・H \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生 \_\_\_\_\_ 才

住所 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_

かかりつけ医の有無 (あり 無 帰省・旅行中 )

「あり」または「帰省旅行中」の場合かかりつけ医を欄外に記載してください

→ **かかりつけ医がある場合かかりつけ医に連絡してください**

意識レベル ( 清明 ぼんやり なし ) 血圧 ( \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ mm/Hg)  
 心拍数 ( \_\_\_\_\_ ) 動脈血酸素飽和度<SP0₂> ( \_\_\_\_\_ %) 体温 ( \_\_\_\_\_ °C)

主訴 (症状)	下腹部痛 ( )
	性器出血 ( ) おりもの ( )
	月経の異常 過 多 ( ) ・ 痛み ( ) ・ 遅れ ( )
	外陰部の異常 かゆみ ( ) ・ 痛み ( ) ・ 外傷 ( )
	その他 ( _____ )
	妊娠の有無: なし ( ) ・ あり ( ) ・ 不明 ( )
	妊娠ありの場合 妊娠週数 _____ 週 _____ 日 _____ 力月
	(分娩予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日)
	妊娠不明の場合 (最終月経 _____ 年 _____ 月 _____ 日)
	出産経験 あり ( ) ・ なし ( )
	既往歴 ( _____ )

その他自由記載欄 (アレルギー、投薬、破水、胎動、陣痛、感染症歴、血液型等気づいた点を記入してください)
---

医療機関	担当者	受入・不可(理由 _____ )
------	-----	------------------

## 2. 病診連携・病病連携対応編

このマニュアルは、休日・夜間等等に、かかりつけ患者や一次救急患者の容態が急変した際に、当該医療機関で処置できずに二次以上の医療機関に対し搬送を行なう際に利用してください。

なお、新生児の搬送につきましては、しばらくの間このマニュアルを使用しないため、従来どおり県立医科大学附属病院又は、県立奈良病院に直接お問い合わせください。

### 平日昼間の場合

- ・ 平日午前8時30分～午後5時30分については、依頼元が直接二次以上の医療機関に、受入要請を行なってください。
- ・ 依頼元がハイリスク患者に紹介状を持参させ、二次以上の医療機関に直接外来受診させるのではなく、紹介が必要な際には、地域医療連携室等を活用ください。

### 休日・夜間等の場合

かかりつけ患者及び一次救急患者の容態が急変し、病院、診療所での対応が困難で、二次以上の医療機関に対し母体搬送を行なう場合は、下記の要領により処理を行なってください。

- ①母体搬送依頼を行なう医療機関は、県立医科大学附属病院（以下「県立医大」という。）内の、ハイリスク妊婦搬送コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）に母体搬送依頼の電話連絡を行なう。
- ②母体搬送依頼を行なう医療機関は、コーディネーターに奈良県周産期システム母体搬送紹介用紙（以下「紹介用紙」という。）に記載の項目に従い、患者の状況を報告する。
- ③コーディネーターは、県内の二次以上の医療機関に対し受入要請を行なう。
- ④コーディネーターは、県内で受入先が見つからない場合、他府県の周産期情報システムを利用し県外の医療機関に対し受入要請を行なう。
- ⑤受入先決定後  
母体搬送依頼を行なう医療機関は、必要事項を、紹介用紙に記入の上、担当医師に紹介用紙を渡す。

※ かかりつけ患者及び一次救急患者の容態が急変する以外の事情（平日昼間に対応できる症例）での、二次以上の医療機関への母体搬送は、本システムの趣旨ではありません。



### 3. コーディネーター対応編

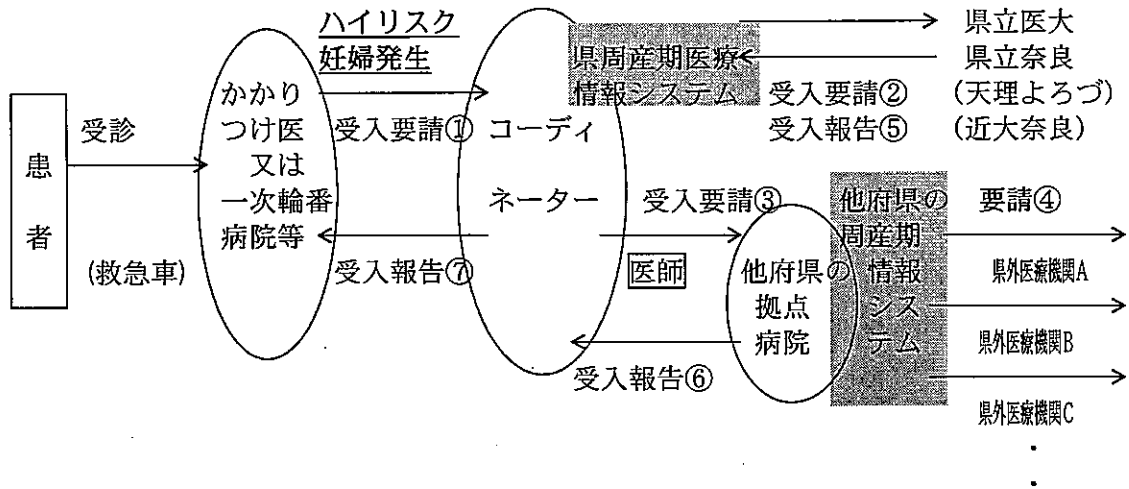
このマニュアルは、ハイリスク妊婦搬送コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）が業務を行なう際に、医療機関との対応を簡単にまとめたものです。コーディネーターの対応時間は、平日午後5時30分～翌日午前8時30分及び土・日曜、休祝日、年末年始の午前8時30分～翌日午前8時30分です。それ以外の時間帯は県内の二次以上の医療機関に直接お問い合わせください。

#### 1. コーディネーターのかかり方

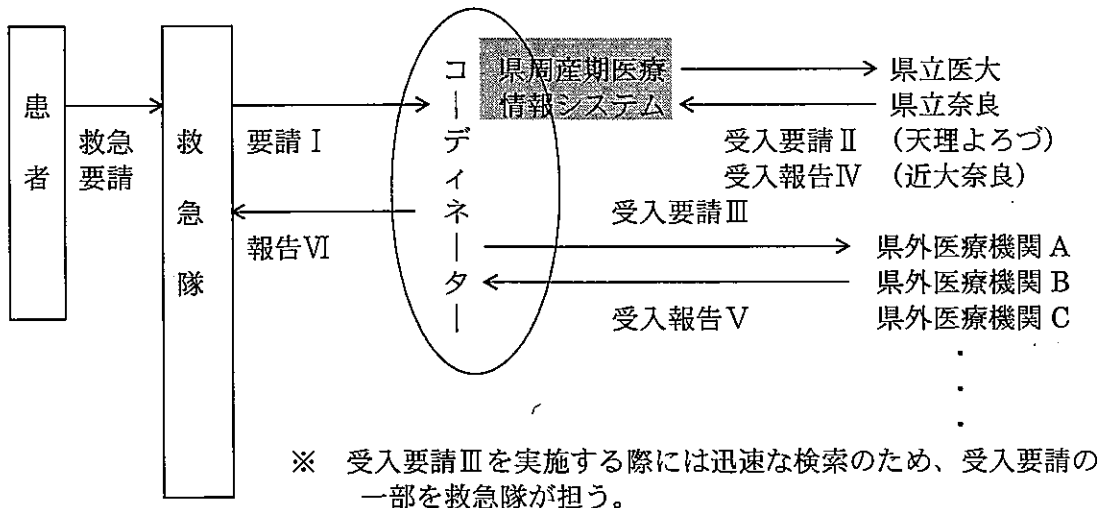
- ①一次医療機関（夜間救急を含む）で診察後、ハイリスクのため高次医療機関への搬送が必要になった場合、一次医療機関医師から搬送先検索依頼をコーディネーターが受ける。  
→二次以上の医療機関受入先をコーディネーターが探す
- ②救急搬送患者が発生し救急隊が二次医療機関に搬送する必要があると判断した場合、救急隊から搬送先検索依頼をコーディネーターが受ける。  
→二次以上の医療機関受入先をコーディネーターが探す
- ③一次輪番病院等が分娩中等により受入ができない場合、原則として一次輪番病院等医師から搬送先検索依頼をコーディネーターが受ける。  
なお、上記の場合で、当該病院医師がコーディネーターと直接連絡できない場合、やむを得ず、救急隊から搬送先検索依頼を受ける。  
→二次以上の医療機関受入先をコーディネーターが探す。

## ハイリスク妊婦搬送コーディネーターの関連イメージ図

### ①医療機関からの母体搬送業務 (かかりつけ医又は一次輪番病院で受診した場合)



### ②救急隊からの母体搬送業務 (救急隊が二次以上と判断した場合又は一次輪番病院受診不可の場合)



## 2. コーディネーター業務

### (1) 医療機関から母体搬送依頼があった場合

#### ①各搬送形態により紹介用紙の内容を埋めていく

コーディネーターは、依頼元医療機関から、奈良県周産期母体搬送紹介用紙（以下「紹介用紙」という。）に記入する内容を電話で確認し、用紙を埋めていく。

なお、都合により電話での内容が聞き取りにくい場合については、紹介用紙をFAX送信するよう依頼する。

#### ②県内医療機関に対し受入要請を行なう

コーディネーターは、紹介用紙に必要事項を記載後、記載内容（症例）によっては、県立医大医師と協議し、電話により県内の二次以上の医療機関（県立医大、県立奈良、近大奈良、天理よろづ）に対し、受入要請を行なう。

また、受入を断られた際についても、断られた理由と、その後の受入可能性等を確認すること。

→受入機関決定→依頼医に直接受入先病院に電話連絡するよう指示

#### 県内二次以上の医療機関における受入可能患者（夜間、休日等）

県立医大	：産科、婦人科患者
県立奈良	：産科、婦人科患者
近大奈良	：産科受入困難、婦人科患者受入困難
天理よろづ	：婦人科患者

#### ③近隣府県の医療機関に対し受入要請を行なう

コーディネーターは、県内の医療機関がすべて受入不可の場合、近隣府県の基幹病院に電話で状況確認を行なう。

（コーディネーターが医師でない場合は、医師に受入要請のための電話を依頼する。）

近隣府県の医療機関への確認中についても、随時、県内医療機関の受入可能状況の変化を確認すること。

→受入機関決定→依頼医に直接受入先病院に電話連絡するよう指示

#### ④紹介用紙（入力用）の送付を依頼する。

コーディネーターは、受入先医療機関が決定した際、依頼元医療機関に対し、紹介用紙（入力用）の送付を依頼し、当該用紙の到着後、速やかに、その内容を周産期情報システムに入力する。

## (2) 救急隊から母体搬送依頼があった場合

### ①産婦人科一次救急チェックリストの作成

コーディネーターは、救急隊からの要請があった際は、産婦人科一次救急チェックリストにより患者の状況を確認の上、チェックリストを埋めていく。

### ②県内医療機関に対し受入要請を行なう

コーディネーターは、チェックリストに患者の状況を記載後、記載内容（症例）によっては、県立医大医師と協議し、電話により県内二次以上の医療機関（県立医大、県立奈良、近大奈良、天理よろづ ※事前に救急隊が救急要請し断られた機関を除く）に受け入れ要請を行なう。

また、受入を断られた際についても、断られた理由と、その後の受入可能性等を確認すること。

→受入機関決定→救急隊に受入病院に搬送するよう連絡

### ③近隣府県の医療機関に対し受入要請を行なう

コーディネーターは、県内の医療機関がすべて受入不可の場合、近隣府県の受入可能医療機関の状況を該当地域の消防等に確認し、近隣府県の医療機関に対し、電話による受入要請を行なう。

コーディネーターは、迅速な受入可能病院の検索のため、救急隊に対し、電話による受入要請の一部を担うよう指示すること。

近隣府県の医療機関に確認中についても、随時、県内医療機関の受入可能状況の変化を確認すること。

なお、救急隊が受入要請を行なった際に、受入機関が決定した場合、救急隊は直ちに、コーディネーターに受入先決定の旨、連絡するよう指示すること。

→受入機関決定→救急隊に受入病院に搬送するよう連絡

## 3. 統計作成業務

コーディネーターは、受入要請に対応した後、速やかに、受入状況について奈良県周産期情報システムに受入状況、疾病等の必要項目を入力する。

## 4. 受入可能状況の確認

コーディネーターは、県内周産期医療機関に対し、勤務開始前に受入可能状況の確認を行なうものとし、その状況について、周産期情報システムに入力し、医大病院の救急受付や医師、看護師等連絡し情報共有に努めること。

## 5. 県立医大の受入状況の随時確認

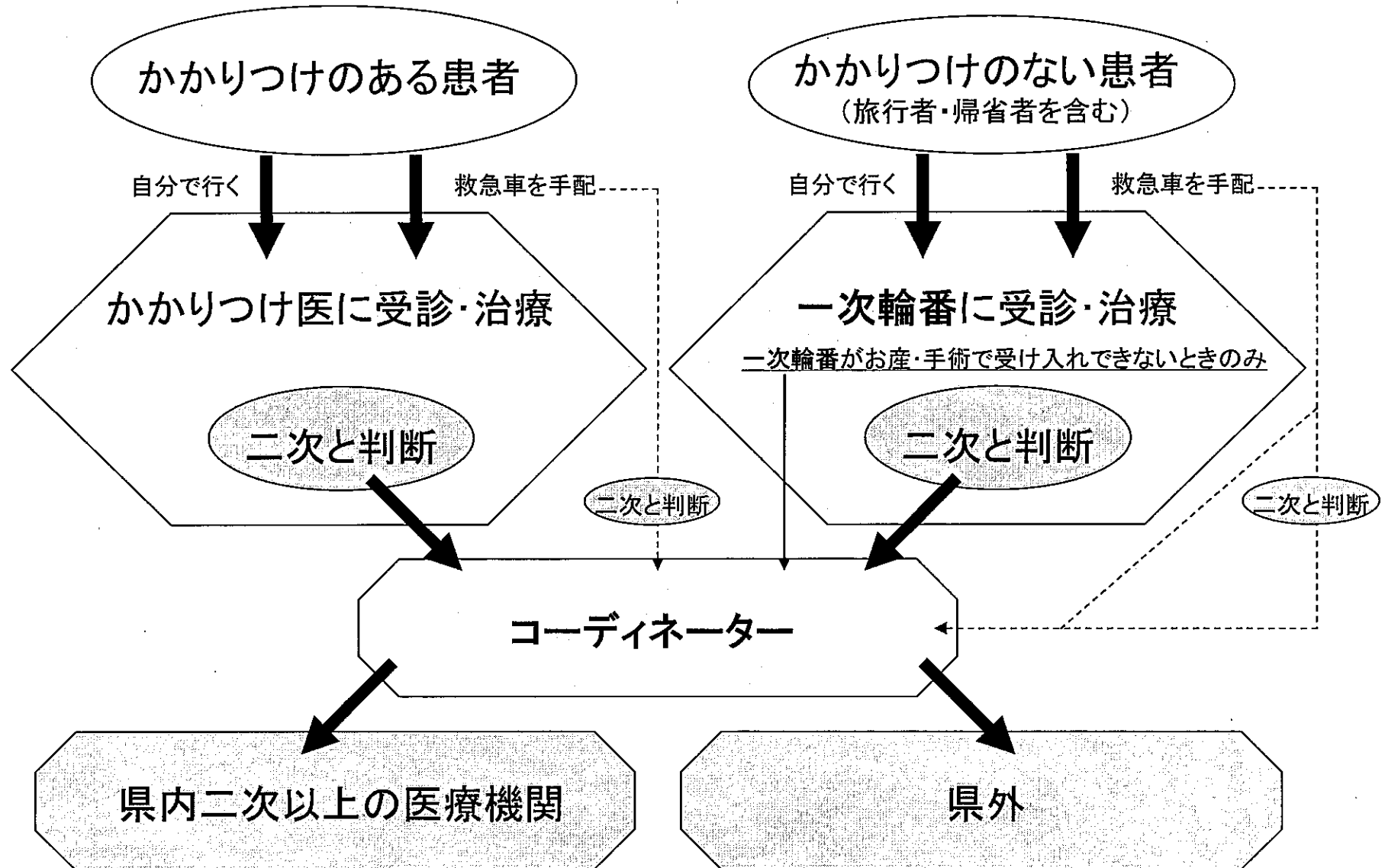
コーディネーターは、県立医大内の受入状況については、医師、看護師等と連携することにより、リアルタイムに把握し、コーディネーター業務の際に直ちに対応できるよう努めること。

#### 6. 業務日誌の作成

コーディネーターは、当日のコーディネーター業務終了時に、業務状況を報告するため、業務日誌を作成する

# 関連イメージ図

(患者からの視点)



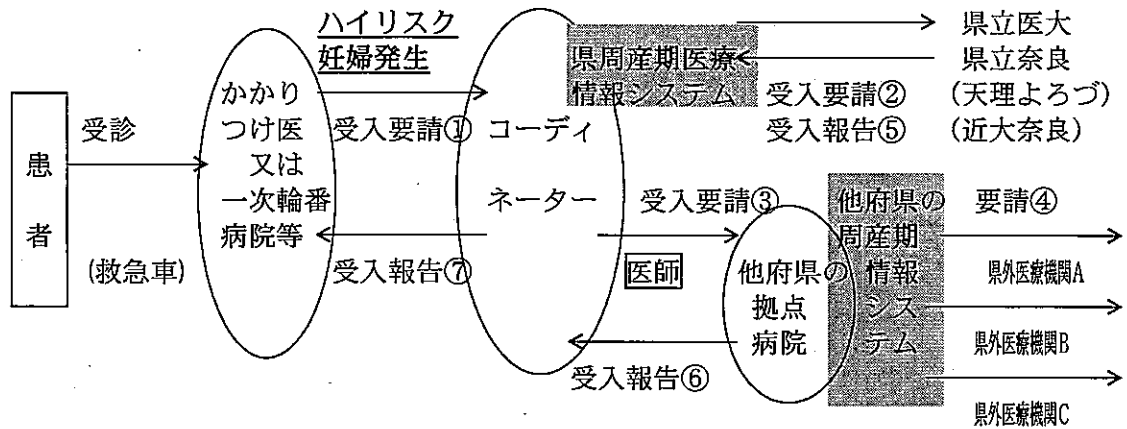
(参考資料)

(参考資料)

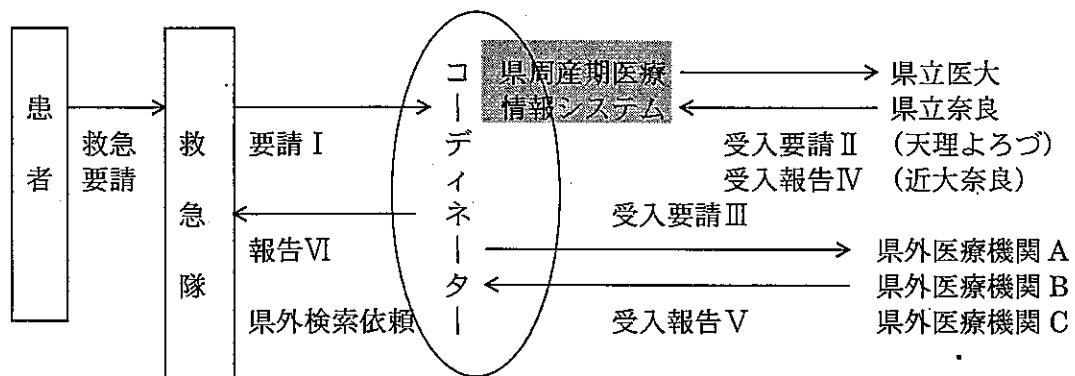
## 関連イメージ図

(ハイリスク妊婦搬送コーディネータの視点)

- ①医療機関からの母体搬送業務  
(かかりつけ医又は一次輪番病院で受診した場合)



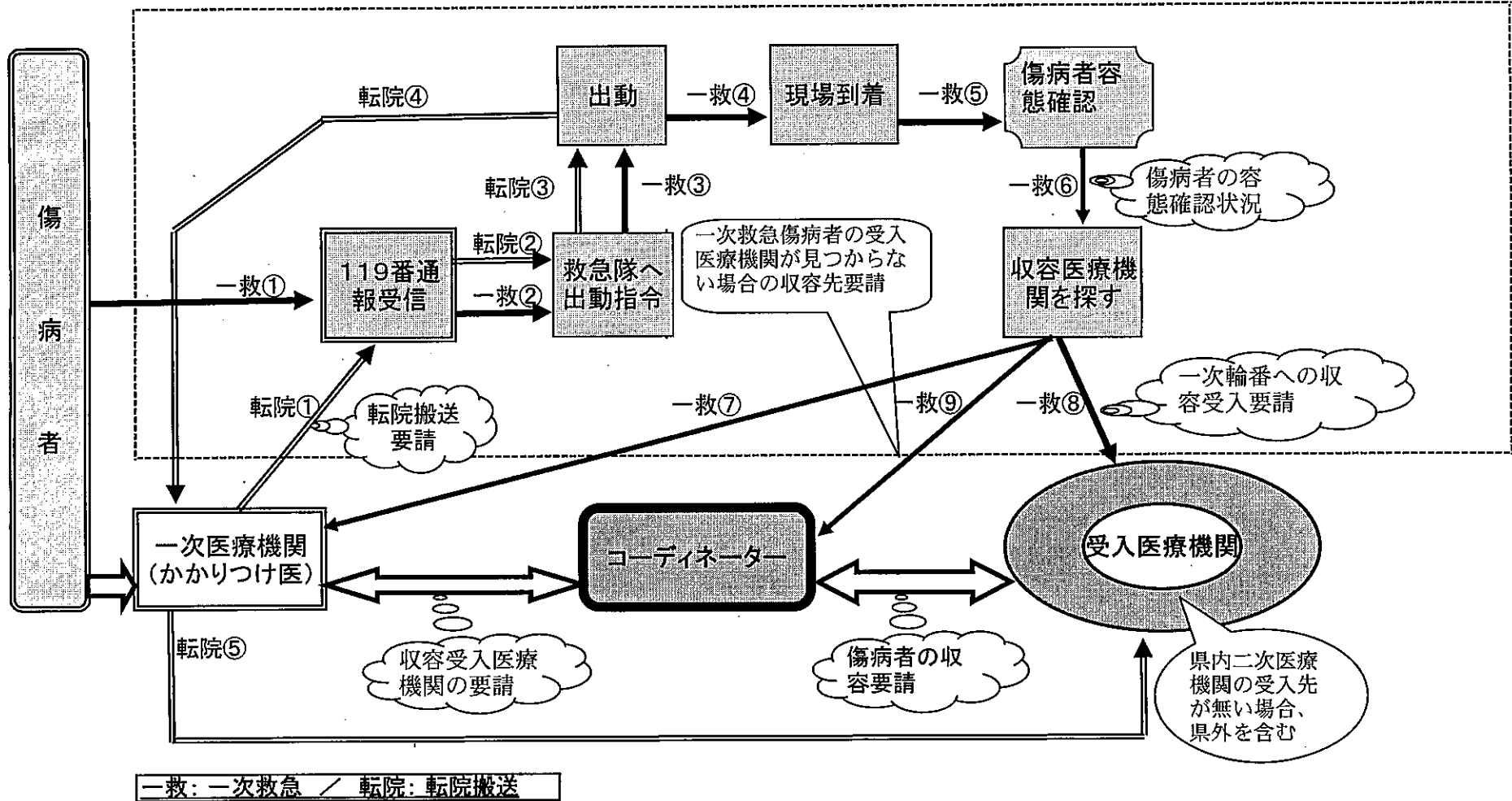
- ②救急隊からの母体搬送業務  
(救急隊が二次以上と判断した場合又は一次輪番病院受診不可の場合)



※ 受入要請Ⅲを実施する際には迅速な検索のため、受入要請の一部を救急隊が担う。

# 関連イメージ図 (消防の視点から)

- 一次救急
- 二次救急
- 転院搬送
- 消防の流れ





## 2007年8月奈良県妊婦救急搬送事案調査委員会設置要綱

### (目的)

第1条 妊婦救急搬送事案に関して、発生の原因究明及び再発防止対策の検討を行い、本県の周産期医療ネットワーク及び産科救急医療の円滑な運営を確立するため、妊婦救急搬送事案に関する原因究明・再発防止対策検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (検討項目)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 今般の事案の原因究明
- (2) 再発防止策

### (組織)

第3条 委員会は、産婦人科・救急医療関係病院代表者、医療関係団体代表者、消防関係代表者、近府県関係者等の中から知事が委嘱する委員で組織する。

### (委員長)

第4条 委員長は、奈良県知事とする。

### (会議)

第5条 会議は、委員長が招集し開催する。

- 2 会議の進行は、委員長がこれにあたる。ただし、委員長が欠席する場合は、あらかじめ委員長が指名した委員が代行する。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め意見を聞くことができる。

### (守秘義務)

第6条 委員は会議で知り得た情報について守秘義務を負う。

### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、奈良県福祉部健康安全局医務課において処理する。

### (その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、別に定める。

### (附則)

この要綱は、平成19年9月4日から施行する。

## 2007年8月奈良県妊婦救急搬送事案調査委員会検討経緯

平成19年 8月29日(水) 事案発生

奈良県在住の妊婦が救急搬送中に死産するという事案が発生

平成19年 8月30日(木) 知事緊急記者会見

知事緊急記者会見時において検討調査委員会設置を決定

平成19年 9月 7日(金) 第1回2007年8月妊婦救急搬送事案調査委員会

妊婦救急搬送事案に関する事実の確認及び検討課題の抽出

平成19年 9月21日(金) 第2回2007年8月妊婦救急搬送事案調査委員会

妊婦救急搬送事案における問題点と課題、奈良県の対応策の提示

平成19年10月 5日(金) 第3回2007年8月妊婦救急搬送事案調査委員会

対応策についての進捗状況(報告)等、奈良県の産婦人科一次救急体制の検討及び調査委員会報告書フレーム(案)について

平成19年10月19日(金) 第4回2007年8月妊婦救急搬送事案調査委員会

産婦人科一次救急体制整備の進捗状況(報告)、周産期医療体制整備基本構想について(報告)、未受診妊婦の調査結果及び対応策、調査委員会報告書(案)について、及び産婦人科救急対応マニュアル(案)について

平成19年11月 9日(金) 第5回2007年8月妊婦救急搬送事案調査委員会

調査委員会報告書(案)について

## 2007年8月奈良県妊婦救急搬送事案調査委員会作業部会の状況

### マニュアル作業部会

#### 検討経緯

- 9年10月 3日(水) 第1回マニュアル作業部会  
・今後の進め方、現状の問題点の把握等
- 9年10月10日(水) 第2回マニュアル作業部会  
・マニュアル及びチェックリストの検討等
- 9年10月17日(水) 第3回マニュアル作業部会  
・マニュアル案の検討等
- 9年10月24日(水) 第4回マニュアル作業部会  
・マニュアル案の検討、産婦人科救急対応訓練の検討等

#### 委員名簿

氏 名	役 職 名	
潮田 悦男	奈良県医師会理事	副部長
佐道 俊幸	奈良県立医科大学産婦人科学教室助教	部長
眞井 敬夫	奈良県消防長会救急部会(香芝・広陵消防組合救急救助課課長補佐)	
辻本 博文	奈良県消防長会通信部会(五條市消防本部警防課通信指令係長)	

## 2007年8月奈良県妊婦救急搬送事案調査委員会名簿

氏名	役職名
井上 芳樹	近畿大学医学部奈良病院長
今川 敦史	済生会中和病院長
奥村 秀弘	天理よろづ相談所病院長
籠島 忠	奈良県立奈良病院長
小林 浩	奈良県立医科大学附属病院産婦人科学教室教授
榑 壽右	奈良県立医科大学附属病院長
島野 吉裕	天理市立病院長
鳶原 康行	奈良社会保険病院長
土井 康司	高の原中央病院長
中島 俊一	市立奈良病院管理者
橋本 俊雄	奈良県立三室病院長
松村 忠史	大和高田市立病院長
齊藤 守重	奈良県医師会産婦人科医会長
藤岡 庄司	奈良県医師会理事(救急医療担当)
有地 正伸	奈良県消防長会救急部会副部会長(生駒市消防本部消防長)
猪岡 秀夫	奈良県消防長会会長(奈良市消防局長)
川嶋 均	奈良県消防長会救急部会長(香芝・広陵消防組合消防長)
田中 輝夫	奈良県消防長会通信部会副部会長(西和消防組合消防長)
東 正章	奈良県消防長会通信部会長代理(五條市消防本部次長)
山本 洋	奈良県消防長会副会長(宇陀広域消防組合消防長)
齋田 幸次	大阪府医師会理事
末原 則幸	大阪府立母子保健総合医療センター副院長
野田 哲朗	大阪府健康福祉部地域保健福祉室精神保健疾病対策課長
若宮 茂樹	和歌山県福祉保健部健康局医務課長
荒井 正吾	奈良県知事
竹村 潔	奈良県福祉部健康安全局長